

目標達成計画

作成日: 令和 元年 7月 22日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	地域への参加や地域住民との関わりが乏しい。	地域密着型の施設として自治会への参加、地域での行事への参加すること。加えて施設でのイベントへの地域住民の参加を促すなど働きかけ、地域との関係性の構築。	自治会の班長への挨拶、自治会の年間行事を知り参加出来ることは参加する。地域のボランティアを募集することや自施設でのイベントを地域住民へ周知、参加を促す。	6ヶ月
2	26	日常ケアの基になる介護計画の重要性が高まっているが、モニタリング・カンファレンス等が不十分である。	入居者、家族の意向・要望、医師・看護師の意見を集約し定期的にモニタリングを行うと共に介護計画書を作成する。	法人内の他グループホームの計画作成者からモニタリング、カンファレンスの行い方の指導を受け実践する。家族の来設時に意向を聴き取り介護計画に反映する。	3ヶ月
3	35	年2回、火災事故に対しては消防訓練を実施しているが、勤務ローテーションの関係で参加できていない職員がいる。また、近年起こっている想定外の自然災害に対しても危機意識が不足している。	年2回の消防訓練以外にも毎月会議時に通報訓練や、避難経路の確認を行うと共に水害対策マニュアルも各自配布し実際の非難を想定しておく。	月一回の各ユニット会議で通報装置の扱い方、避難経路の確認を月毎にテーマを定め参加者で確認する。各自が知識を持ち災害時に対応出来るようにする。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。